

平成 2 4 年度第 2 回大津町振興総合計画等評価委員会 議事録

1 . 日 時：平成 2 4 年 1 0 月 5 日（金） 午後 1 時 3 0 分～午後 4 時 0 0 分

2 . 場 所：大津町役場 4 階大会議室

3 . 議題等

（ 1 ）開会

（ 2 ）議事

1) 大津町振興総合計画基本事業の評価について

農政課、農業委員会、商業観光課、税務課

2) その他

4 . 出席委員等

関係団体等	氏 名	備 考
学識経験者（熊本県立大学教授） 委員長	明石 照久	出席
大津町企業連絡協議会会長	池松 康博	欠席
大津町社会教育委員	伊東 祐紀	出席
大津町区長会会長	宇佐川 恵	出席
公募委員	緒方 正男	出席
女性グループ（大津町女性の会会長）	坂本 晶江	欠席
大津町教育委員	首藤 誠治	欠席
大津町農業委員会会長	瀬川 友次	出席
障害者関係団体（大津町身障者福祉会）	中村 静次	出席
商工会（商工会理事・青年部長）	西川 秀貢	出席
公募委員	松岡 征一郎	出席
大津町社会福祉協議会事務局次長	松木 雄一郎	出席
まちづくり関係団体（明日の観光大津を創る会）	村山 和義	出席
公募委員	与古田 公子	出席
大津町民生委員・児童委員協議会会長 副委員長	吉田 和信	欠席

（五十音順・敬称略）

5 . 委員会傍聴人 1 名

開会

委員長挨拶

委員長 ご審議の前に、前回の未回答の質疑がありましたので、保険医療課から説明がござい
ます。大津町の健康寿命及び平均寿命についてという部分と県内のマッサージ利用に対する
助成自治体の状況について、この2つについて、説明をお願いします。

保険医療課 平均寿命については、熊本県の平均寿命という資料に、平成17年度の平均寿命で、男
性79.22歳、女性86.54歳となっています。資料は平成17年度が現時点での最新
版ということで確認しています。大津町については、平成17年度の数値で、男性79.
7歳、女性86.6歳となっています。健康寿命については、大津町の資料をとということ
でしたが、現状はございません。ただ、福祉部健康福祉課健康推進係で、平成25年度策
定予定の健康増進計画で、健康寿命について項目を盛り込むことになっていますので、現
在、町での資料の収集を行っているということです。そのため、今回は熊本県の健康寿命
を載せていますが、順位としては21番目で、男性が70.58歳、女性が73.84歳と
なっています。次にマッサージ券の状況についてですが、県内の大津町周辺地域で確認を
しました。町で独自に調べたものです。阿蘇市はマッサージを認めている、枚数は一人
20枚。山鹿市もマッサージを認めている、枚数は一人20枚。御船町も認めている、一
世帯当たり10枚。高森町は針灸券そのものがない。数年前からやっていないということ
でした。菊陽町はマッサージを認めてない。ただし、針灸券は一世帯当たり60枚、合志
市もマッサージは認めてない。針灸券は一世帯当たり60枚です。合志市は、現在、事業
仕分けを行っており、針灸券については廃止したほうがいいのかという答申があってお
りまして、担当課では検討を予定しているということでした。菊池市はマッサージ券を認
めていない、針灸券の発行枚数は一世帯当たり40枚となっています。

委員長 この2点について、ご質問、ご意見等ございましたらよろしくお願いいたします。

緒方委員 平均寿命の資料は、平成17年までしか出ていないから、その後、大津町はどうなっ
ているのかを知りたかったのです。

保険医療課 最新としては、平成22年度があるということですが、まだ集計が出来ていないとい
うことです。

(2)議事 1)大津町振興総合計画基本事業の評価について

委員長 農政課から説明をお願いします。

農政課(P1～P24) について説明

与古田委員 24 ページの公園の安全のことです。公園が安全と思う人の割合が低く、評価もC評価になっています。原因が何に起因するか調査しなくてはならないとありますので、今後、どのような調査をする予定があるのか。それと、今までの事業が全部B評価で、予定どおりとのことですが、何で判断していいか分からないところもあります。私たちはA、B、C評価は頼りにして見えていますので、そういうことを勘案されたうえで評価をしてもらったら助かります。

農政課 割合の数値は、町が行った振興計画に関する住民アンケート結果です。

与古田委員 今後は調査をなさらないのですか。公園が安心安全というのはものすごく重要なことだと思うのです。何が原因かわからないままいかれるということですか。

農政課 公園は、町に30か所ぐらいあります。相当予算をかけて管理していますが、造られた年代や年数もあります。管理でも、ちりが落ちていたとか、遊具に不具合があると町民から厳しく見られるのではないかと考えています。

委員長 ご質問の中で、達成度の評価が、Bが多いと、これは安易にBをつけているのではないかという趣旨だと思いますが、事務局からコメントはありますか。

事務局 達成度評価に対する担当課の評価へのご意見だと思いますが、たしかに担当課、私たちの方からすると評価が甘くなってしまうというのが現状だという気もします。皆さん方に評価していただくというのは、そのあたりに対する住民の目を見た評価を率直に言っていたきたいということを含めて、このようなかたちで評価をしていただいています。

村山委員 後期計画では「安全・安心な公園の整備」の担当課が商業観光課になっていますが、担当が商業観光課から農政課に移ったのはいつからでしょうか。

事務局 この後期計画は平成22年度中に策定されています。平成22年度までが商業観光課で、平成23年度から農政課に移管されたということです。

村山委員 「オックスプラザの親水公園を適正に管理し、市街地の中に潤いのある場を提供します。」という表記があります。せっかくの水辺空間に水車が作られましたが、今は水車が壊れて残骸の基礎部分だけが残っています。あのような状態で、町の顔としての水辺プラザが、観光的にもマイナス影響を与えていると思いますが、担当課で問題意識を持っていただき、どうしても水車を維持管理できないということであれば、基礎部分を外して、きちんと処理すべきではないかと思いました。

与古田委員 7月の災害で、農業面の被害に対して補助を受けるには自己負担があるとお聞きしたことがあります。国や県の助成に加えて、町の方で、税制面とかは優遇されていますが、特別な配慮や低利の貸し付けなど、そういうことは考えられないのでしょうか。

農政課 農業災害では、農地は、国の補助が2分の1、農業用施設は65%となっています。ただ今回は、激甚災害の指定を受けていますので、その50%ないし65%から上積みがなされており、上積みは、どの程度の被害があるかなどで決まってきます。国の災害査定が第3週目頃から始まると聞いていますので、それから上積みが計算されます。また、町では災害箇所が630箇所程度あり、全部調査をしています。その中で、国の補助対象は40万円以上で、200から250箇所くらいだと思います。また、個人の農地に関しては、町が別途、補助金交付要綱を作って、個人が行う復旧に関する助成制度を検討中です。

与古田委員 ぜひ助成をお願いします。

松岡委員 1ページの基本事業を取り巻く現況と課題の3行目に、「農家だけでなく地域ぐるみでの維持・保全を図り、農業用資源の長寿命化を図る必要があります。」とあります。これは、地域ぐるみの維持・保全を、非農家も含めてやれということだと思いますが、それを求めることが、非農家の方に納得いけるかなということが第一点。また、3ページ一番上の『農地・水・環境保全向上対策事業』は、町にどのくらいの事業主体がありますか。それから、6ページの上から3段目の『迫井手地区担い手育成基盤整備関連流動化促進事業』の事業費160万円について、地元の調整及び同意形成を図るのに、具体的にどう使われるのだろうかと思いました。それから、7ページの基本事業を取り巻く現況と課題に、平成2年から平成18年まで書いてあります。今は平成24年ですので、もう少し新しい資料があれば、この推移が分かるのではないかと思います。また、今後、大津町の農業のビジョンについて説明をお願いします。それから、15ページの総合交流ターミナル「岩戸の里」です。「13年を経過し、老朽化した施設設備の計画的改修を行い」とありますが、800万円くらいの予算で、指定管理者と相談しながら、具体的にどこをされるのか。商売ですから難しいところはありますが、方向性なり、具体的な施設の状況なりが分かれば教えていただきたいと思います。

農政課 『農地・水・環境保全向上対策事業』というのは、非農家を含めた地域の農業資源の保全事業で、国が3分の1、県が3分の1、町が3分の1を出して、農業を守ることと、国も県も町も支援しています。事業主体は30地区です。次に、『迫井手地区担い手育成基盤整備関連流動化促進事業』で、地元の調整、同意形成の内容ということですが、平成21年度ぐらいから迫井手地区の圃場整備事業が始まっており、その中で、換地委員会、また推進委員会を地元で作っていただき、月1回開いています。委員は16人で、160万円の2分の1が補助です。事業費は消耗品関係、委員さんの報酬、費用弁償などの予算を組みまして、推進をしていただき、地元の方から出た意見をまとめていただいて、換地委員会にあげて、委員会を開きながら進めているところです。食糧費はお茶だけです。次は、7ページの基本事業を取り巻く現況と課題の数字が古いということですが、今回は新しい数字を入れさせていただきたいと思います。農業センサスが5年に一回ということがあったかもしれません。次に、5年後、10年後のビジョンですが、平成24年度から、国が、人・農地プランを作りなさいと言っています。いろいろな助成金と絡ませて10年

後の大津町の農業のビジョンを作りなさいということで、今アンケートをとって集約している段階です。その中で経営とか農地についていろんな項目がありますので、そういうものを集計しながら、10年後の大津町の農業の方向を出す作業を進めているところです。次に、岩戸の里の改修については、耐用年数が過ぎて補修が必要な部分を計上し、計画に従って改修を行っていきたいと思います。ただ、7月の災害で、大きな被害を受けていて、どのような復旧がいいか検討を行っています。災害後は、災害前の30%は落ちているということで、町は指定管理にして財政的な軽減になっていますが、今の状況は経営的には厳しいと考えています。

伊東委員 農家が一戸、一戸ではどうしても太刀打ちできないので、こういった営農組織が今から国の施策としてやっていかれると思いますが、今現在、大津町にどのくらいの団体があるかということが一点。もう一つは、一昨日の新聞で、青刈りについて掲載されていました。収穫前の稲を刈って飼料で売るほうが米を作って売るよりもお金が入ってくると、農業をされている方で、将来の不安を感じているという投書でした。大津町では、どのくらいの青刈りがあるのか、そして不安を抱えている方への対応策をどのように考えられているのか、分かる部分だけでいいですから。

農政課 町は、集落営農組織の育成に力を入れてきて、17地区に集落営農組織があり、その中で、法人化されているのが1つか2つあります。今、農協では、大津町全域を一つの法人にしようという試みをされています。集落営農組織ないしそれ以外の方々、全部含めたところで、米・麦・大豆を中心とした部分での法人化です。農協の説明会に出席しましたが、なかなかハードルが高いと感じました。青刈りについては、国の制度で、畜産農家と契約して畜産農家が青刈りをすれば、1反当たり8万円になります。それに熊本市が地下水涵養で1カ月水張りすれば、1万3千円、最高3万円近くなると思いますが、そういうかたちで、米を出荷するより田植えをして畜産農家に任せれば、米を収穫して販売するより手取りが多いという状況があります。集落営農組織を町が進めて、低コスト化を図ってきましたが、農家の戸別所得補償で個人に行くようになったので、集落営農組織の意味合いが薄れている状況もあり、それではいけないということで、農協も町全体を法人化して、さらに低コスト化を図りたいということです。

緒方委員 1反当たり的大豆と稲の値段はいくらくらいですか。

農政課 経費や機械、カントリー代を引けば、3万か4万円くらいにしかならないと思います。

緒方委員 1ページです。水害で、予算措置の見直し、上井手、下井手の整備を見直しする必要はないのか。それと、水害の時、開閉が上手く作動したのか、その辺の状況を教えてください。また、環境教育で、森林と渡り鳥の関係の調査をされているところがありますか。

農政課 上井手、下井手の整備ですが、災害箇所は別予算での対応で災害復旧されますので、整備については予定どおりということになります。上井手、下井手の取り入れ口は、今度の

水害で、電動の装置がほとんど破壊されました。災害時は、木や土砂で全く水がいかない状態でしたが、重機で撤去して、手動で動くようになっています。災害の復旧作業で電動を復活するということになっています。また、渡り鳥の調査については行っていません。

農業委員会（P25～P27） について説明。

松岡委員 耕作放棄地を23名の農業委員さんで見回るとするのは実質的に可能ですか。

農業委員会 21年度の農地法の改正により、農業委員さんが必ず調査し報告することになっています。ある程度、農業委員さんの担当地域が指定されており、8月から9月あたりの2カ月間、事前に回っていただき、その後、職員と一緒に写真を撮りながら調査しています。

松岡委員 農業委員は23名で、事業費が大体900万円なので、1人40万円近くの報酬が支払われているのではないですか。

農業委員会 年報酬は22万円で、あとは費用弁償などが主なものです。

松岡委員 委員会は何回くらい開かれるのですか。

農業委員会 毎月、定例会が1回と現地調査が1回、農業会議主催の初任者研修、1泊2日の研修など、主なものはそういうところです。

村山委員 26ページの担当課評価の『賃借権の設定』で、集積により増加しているという表現になっていますが、前のページの数値を見ると、目標は470haということで、425haから少しずつ減っていると思いますがどういことですか。

農業委員会 農業生産法人や第三者営農が増えていて、個人が減っていることで、会社などに貸す人が増えて、個人に貸す人が減っているということです。

（休憩）

委員長 予定の時間になりましたので、商業観光課から説明をお願いします。

商業観光課（P28～P39） について説明。

松岡委員 町の観光協会ですが、設立準備会は、町民であれば参加できますか、それとも、商工関係者だけが入るということですか。参加基準は何か考えられていますか。

商業観光課 今、商工会に準備会の委託をしています。その中で設立に向けて、準備委員を12名選定しています。今回、委員には、観光関係の事業に携わっている事業所及び団体等にお

願いしたところです。

松岡委員 観光協会が出来た時の構成員までは決まってないということですか。

商業観光課 他の市町村にもあるような、一般的な観光協会を考えていただくとわかるように、経済団体等が会員になると考えています。

松岡委員 先日、町議会の経済委員会で観光協会のことについて審議があり、その中で、お金儲けの方々が入って、町の観光の面からの視点がないのではないかとあっていましたよ。

商業観光課 観光事業というのは、あくまで経済活動ですから、そういった人たちが会員となって作り上げないといけないという意見は逆に言われています。

松岡委員 早く言えば、公のものであるか、団体のものであるかということです。そういう利益団体のものであるということでしょう。結局、会員になれないということは、一般町民に対して開かれていないということでしょう。

商業観光課 観光協会の会員になる場合、会員のメリットがなければ、会員になっていただけないと思います。

松岡委員 大津町の観光を考える人は入るのではないですか。

商業観光課 そのことは、今、準備会にお願いして、どこまで団体会員にするのか、個人会員にするのか、そういうことを含めて検討していただいているところです。

松岡委員 問題は、町の観光協会というならば、業者だけのものであってはならないと思うのです。門戸は広げて、いろんな人が入って大津町の観光を考えるのが観光協会でしょう。

商業観光課 もちろん、門戸は広げておきますけど、そこに会費が発生しますのです。

松岡委員 公に開放され、門戸を開いているかどうかを問題にしているのです。協会に入るなら、大津の観光のことを考えて会費を払って入るでしょう。一部の業者さんの自分の金儲けのための観光協会にならないかと心配しているのです。次に 30 ページの『大津町商工会助成事業』で、大津町商工会へ 900 万円の金が出ていますが、どういう補助ですか。

商業観光課 商工会が一般会員に対する経営指導や講習会など、諸々の事業に経費に充てています。

松岡委員 商工会におられる方々の給料にはならないということですね。

商業観光課 商工会には、今、経営指導員が 2 名おり、この 2 名につきましては、県の商工会、本

部からの補助です。また、商工会の職員の人件費については、商工会が独自にされている
いろんな事業、会費を含めた収入を充てていらっしゃると思います。

松岡委員 商工会には、バイパス沿いのお店は全部入っておられますか。

商業観光課 全部は入っておられません。商工会として、お願いはしているのですが、フランチャ
イズなどの企業が結構あり、中々、入っていただけないのが現状です。

松岡委員 ということは、旧道沿いのお店の方々がほとんどですか。

商業観光課 お店以外の企業さんも入っておられます。

松岡委員 結構大きな額ですので、透明性、公平性がないと、ちょっと心配しているわけです。

商業観光課 毎年、監査もされていますし、町の監査委員による監査もしていただいています。

松岡委員 肥後大津たばこ販売協同組合助成金について、大きな金額ではありませんが、30 万円
ですか。教育研究事業は、たばこを売るためですか。

商業観光課 未成年者の喫煙の防止、喫煙者に対してはマナーアップの教育です。美化活動なども
されています。

松岡委員 これが、喫煙を勧めるようなものであれば、今の我々の常識に反すると考えたのです。
出来る限りたばこはやめる方向で行くべきではないかと思ったので。

商業観光課 町としても、たばこ消費税が2 億数千万円入ってきますので、そういう関係もありま
す。

松岡委員 肺がんのリスクも非常に高いのではないですか。これを勧めることによってまた医療費
が上がってくる。たばこを販売される方は売りたいわけです。ところが、一方では医療費
が上がってくる。そのあたりはよく考えてやらないと問題があるのではないかと思ったの
です。

商業観光課 今、たばこ販売協同組合では、販売促進ということにお金は使っておられません。大
津、菊陽、合志、西原の4 市町村で構成され、全体の会員数が八十数名、大津の会員が
33 名で、各市町村から補助金が出ています。

伊東委員 30 ページの大津町無料職業紹介所ですが、その実績と成果を教えていただきたいと思
います。2 番目は、祭りについてですが、今年の地蔵まつりは昔の活気を取り戻したと思
います。町内外の人を集めるのが、つつじ祭りとからいもフェスティバルですね。それ

と町民参加が地蔵まつり。町としては、この3大行事をぜひ後押しして盛り上げてもらいたいと思います。

商業観光課 平成23年度の実績で、職業紹介所に来られている人数が811人で、男性266人、女性545人です。その中で、会社の方からの求人が143人です。その中で実際採用になった方は、常用が64人、臨時が6人です。ちなみに22年度は400人です。雇用保険の証明ですが、失業保険をもらうために就職活動をしなければなりません。そのために証明をもらいに来られる方が、既に6割ほどいらっしゃいます。段々そちらのほうの比重が高くなってきており、求職に来られる方は少なくなってきているのが現状です。それから、地蔵まつりは、一昨年は口蹄疫の関係で、やむなく中止しています。去年は1日だけの開催でしたが、2日間の方がいいという声が大きくて、本年は元に戻しています。来年も23日、24日で開催する予定です。

松岡委員 僕たちの地域では、地域の地蔵まつりを24日にしていたのです。町の地蔵まつりに来てもらおうということで、日にちを変えたのですよ。そういうかたちで地域、地域が、自分たちの祭りを変更してでも、町の祭りに出てきてもらうというような協力体制も必要ではないかと思います。24日を何で変えるのかという意見もあったのですが、子供も行きたいし、町のためにも変えようではないかということで、ここ2～3年変えました。それから、ヘイスティングからブレイクさんという方が8月に来られて、9月から11月にかけて、一週間に2回、交流センターで英会話教室があっています。私からお願いして、今日の1時半から3時まで、夜に出られない、子育てとか高齢者の方を対象に、交流センターで英会話をしていただいたということです。これは高く評価していいのではないかと思います。それから、交流センターには駐車場がないということです。障害を持っている人、高齢者の人たちは、夏の暑い時、雨が降っている時、あそこまで歩いていけといわれても、なかなか難しいところもありますので、改良できるなら検討していただきたいと思います。

緒方委員 32ページの担当課評価で、『交流センター』の名称は変更になったので、『交流会館』に変更をお願いします。もう一点は、大津町と中国の関係で、何か町に支障になっていること、例えば、企業に予定されている方が来られないとか、そういうことはありませんか。

商業観光課 商業観光課には、中国の方が来なくなったとかというような話は入ってきていません。

松岡委員 この通り（県道沿い）は、シャッターが非常に多ございますが、今後、どのように活性化していこうというようなビジョンがあるかどうか。何か活性化の手立てを考えていただくなら、ということが第一点。それから、白川中流水域の漁業組合に町の補助が出ているでしょう。いくら出ていますか。

商業観光課 35万円です。

松岡委員 白川漁協は一般の人は入れないのです。株が何か持っている人でないと入れないのです。公開されないのです。熊本県にも電話して聞いてみたら、県は補助金を出していないということでした。大津と菊陽から出ていると思いますけど、これはよく町の方でも考えていただきたいですね。

商業観光課 商店街の活性化については、ここ10年、20年言われ続けてきたことですが、活性化が進まず、段々、閉める商店が出てきているのが実情です。商店はバイパス沿いに移ってきているので、こちら（県道沿い）の振興は難しいと思っています。ただ、飲食業は少しずつ町中に増えてきていますので、そのあたりを活かして活性化できないかとは考えています。飲食業が活性化して、それに付随して人が増えれば、お店も出てくるのではないかと思います。そのようなことを含めて、交流会館を中央バス停の所に造ったわけです。バス停のところに設けることによって、車を運転できない方も公共交通機関を利用されておいでいただけますので、そこも含めて、今後事業展開をしなければならないと考えています。漁業組合の助成については、魚の繁殖、河川の美化なども含めて、漁業組合に補助しているわけです。実績報告もいただいており、補助金は適正に利用されていますので、今までどおり、補助を行う予定にしています。

与古田委員 ビジターセンターから出て、椅子が置いてある待合所と、ビジターセンターの間に隙間がありますが、雨に濡れないようにできましたか。前年度、質問しまして、それは修理しますということを知りました。

商業観光課 駅南のビジターセンターは、都市計画課が整備しまして、その後、管理を商業観光課に任されており、申し訳ありませんが、その話は聞いていません。

与古田委員 空港ライナーを待つ時に、雨が降ったら濡れるのです。ライナーの運転手さんも、ここはすごく困ると言われたので、質問したら、しますという返事でした。ここにビジターセンターの照明設備が完了したと書いてあるので、屋根も一緒に完了したのかと思って確かめたところです。

商業観光課 照明灯整備の場所は、この通り（県道沿い）になります。

委員長 ビジターセンターの件は、後日、回答を取りまとめて、次の回にご報告をいただくということをお願いしたいと思います。それでは、税務課の説明をいただきたいと存じます。

税務課（P40～P42） について説明。

松岡委員 41 ページの今後の課題と取り組み方針で『租税教育の推進』とありますが、これは納税者を教育するのですか。

税務課 学校の児童生徒さんです。税務署に事務局があり、教育委員会と連携して、学校や市町

村と一体となって行われています。

松岡委員 納税の問題は、行政サービスがどれだけ対応しているかということです。だから、行政サービスがそれにふさわしく対応していなければ、納税しようという気が起きないわけです。今年の納税通知書に、納期に遅れないように納税してくださいと書いてありましたので支払いに来たのですが、町は受け取らなかったのです。納付書の文章は変更する必要があると思う。我々なんか年金から差し引くわけでしょう。それについては書いておかないといけないですよ。年金と別なものについては払ってくださいと。

税務課 公的年金の特徴については、平成 21 年度に始まり、年金だけの方については、年金から全部引けますが、年金以外の農業所得やいろんな所得については、年金から引けないということになっておりまして、普通徴収で納付書を出しています。年金特徴は難しい部分があり、できるだけ簡単な言葉で説明するよう、お知らせなどを作らせますが、それについては工夫したいと思います。

松岡委員 説明ができなかったので新聞に投稿したのです。7月29日新聞に出て、30日に説明に来ましようかと電話がかかってきたのです。電話先でしょう。これは甚だ納税者に対して失礼なことではないかと。7月29日掲載だから7月初めに投稿していると思うのです。その時にちゃんと来て、私はあの段階で説明できませんでしたが、こうこうですと言っていたらよかったのだけど、そういうのも何もない。そういうことでは話しにならないのではなかろうかと。誠実な対応、速やかにその時は対応をするということが必要ではないかということを言っているのです。

委員長 年金特徴というのは、年金の場合は申告しなくても特別徴収で天引きされます。しかし、それ以外に収入があったら、課税所得額を確定しないことには、税金が決まらないから、普通徴収で払ってもらうのですよと、その理屈をちゃんと説明してくれないと、それはおっしゃるとおりですよ。

松岡委員 私の年金から納める税金は少ないですよ。しかし、そのお金を有意義に、行政サービスを行ってほしいという気持ちがあるのです。だから自分の手で払って、その対価として行政サービスをしてくれという気持ちがあるから来たのです。そのあたりの気持ちを誠実に考えておかないと難しいということですよ。

税務課 年金特別徴収が平成 21 年の 10 月から始まっています。当初は問い合わせが多かったし、今でも文書がわかりにくいという問い合わせがありましたので、少しずつでも改善しながら、分かりやすい文章をお付けして、ご理解を得られるような努力をしたいと思っています。

松岡委員 41 ページの最後に、これは去年言ったことで、「ギリギリではなく、もう少し早く知らせた方が効率的ではないか。」とあります。早めに納税通知書を送っているから、ギリギ

りになってもいいという考え方でしょう。しかし、払う方からすると、期間をおいて、余裕があった方がいいと思うのだけど。そのままやっているというのは、通知書を送っているから、払わないのが悪いからギリギリでいいと考えられているのか。そこに慢心と傲慢な気持ちがあると思うのですよ。

税務課 委員さんが言われたとおり、早めに一回お知らせして、また最後にお知らせするか、でも二重になるとどうかと。結論が出ていないという状況です。検討で申し訳ないですけど、考えさせていただきたいと思います。

松木委員 今、払う人の話と払わない人の話は聞くことができたのですが、払えない人の話、対策を聞かせていただいていたいいですか。

税務課 住民税は前年中に所得がなければ課税されませんし、固定資産税も持ち物がなければ課税されません。徴収に苦慮するのは国民健康保険税です。これは、収入がなくても、均等割と平等割は、7割軽減等がかかりますけど税額が出ます。いろんな調査を行いますが、税金が払えない状況であれば、差し押さえなどをしない、地方税法で滞納処分の執行停止という方法がございます。ただ、そういう話があれば、話を聞いて、健康福祉課とかいろんなところにつなげたいと思っています。

委員長 本日、予定しておりました事業の審議は、これで終了です。あと1点積み残しの都市計画課の対応については、次回、説明をいただければと思います。

緒方委員 前回、ホームページのイベントの期日変更をお願いしていましたが、イベントの期日変更は2、3日で変更になっていたけど、施設の案内で、施設が整備、新築されたところの施設案内が以前のままです。そのへんを、即やってもらいたいと思います。

委員長 委員の皆様からいろいろご意見もありましたが、特に、ここで出た意見で、すぐ対応できることを全然対応していないのではないかと、その辺はしっかり対応していただきたいと思います。検討にすごく時間を要した、そんなことに対応してくれとおっしゃっているわけではなくて、すぐにでもできることを何でしないのか。あるいは、前の課から引き継いだけど、全然、聞いてないとか、だけど、町民から見たら、同じ役場だから、そういう理屈は通らないよと、そういう常識的な話をされていると思いますので、よろしく願いいたします。それでは、これをもって終了とさせていただきます。ありがとうございました。

第2回大津町振興総合計画等評価委員会終了